

マルチボディダイナミクスの国際学会に出席して

2025 年 3 月 博士前期課程修了 根本 朔也

2024 年 6 月にアメリカ・ウィスコンシン州にて行われた、マルチボディダイナミクスに関する国際学会「International Conference on Multibody System Dynamics」において、私は「An Analytical Method for Tether Systems Composed of Rigid Bodies Introducing Linear Complementarity Problem」という題目で発表を行いました。事前に教授からいただいた情報では、機械工学における、マルチボディダイナミクスに関する学会でのトップカンファレンスということで、当初は戦々恐々としながら準備を行っていました。しかし、審査において自分でも予想していなかったほどの好意的なレビューを頂き、今までの自分の研究にとっても自信が持てたことを覚えています。英語は日本語に比べ、文字に起こすと文章量が多くなりがちであり、スライドの構成を大幅に変更する必要がありました。しかしながら、そのおかげで自分自身も研究内容を再度見直すことができ、その後の研究活動に大きく役立てることができました。



学会には世界中から多くの研究者が集まり、さまざまな角度からマルチボディダイナミクスについての最新研究が発表されていました。自分の研究と関連性のある発表も多く、自分の研究への新たなアイデアも得られました。



発表の合間には、他国から来た参加者との交流もありました。ウィスコンシンは、ビールでも有名であり、学会主催のビール工場見学がありました。お酒を交えることで会話も進み、初めての国際会議でしたが、楽しく過ごすことができました。



今回の国際学会参加は、技術面だけでなく、異文化や他の研究者との交流を通じて、視野を広げる良い機会となりました。将来的にも、こうした経験を生かしながら学び続けたいと思います。